

<対策のポイント>

将来の担い手の円滑な確保を図るため、早期の経営基盤の確立に向けた**就農前後の資金面、初期投資に対する支援**や、**農業大学校・農業高校等の教育環境の整備**及び**農業の魅力発信の取組による人材の呼び込み等の支援**を行います。

<事業目標>

40代以下の農業従事者の拡大（40万人） ※令和6年度以降の政策目標については今後検討

<事業の内容>

<事業イメージ>

1. 就農準備、経営開始後の支援

- ① 次世代を担う農業者を目指す49歳以下の者に対し、**就農準備段階や経営開始時の早期の経営確立を支援する資金**を交付します。
- ② 就農後の経営発展のために、都道府県が**機械・施設等の導入を支援**する場合、都道府県支援分の2倍を国が支援します。

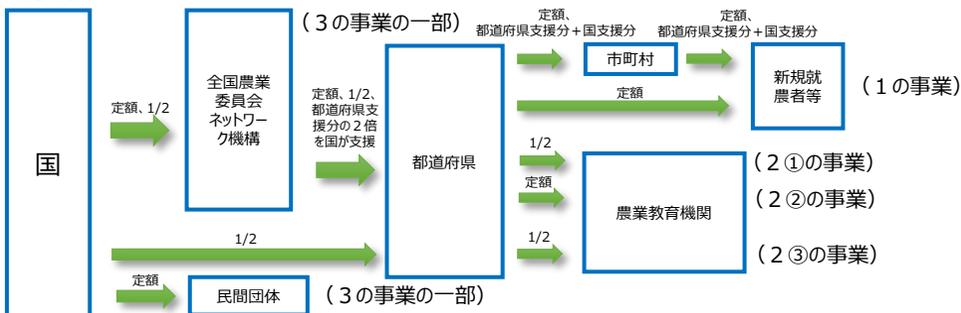
2. 農業大学校・農業高校等の農業教育環境の整備に対する支援

- ① 農業用機械・設備等の導入（補助率：1/2）
スマート農業等の教育の高度化に必要な**農業用機械・設備の導入、無線LAN等のICT環境の整備**を支援します。
- ② グリーン教育推進（補助率：定額）
有機農業教育の充実を図るため、**有機農業専攻・科目の設置**や**有機JAS認証の取得**に向けた取組をパッケージで支援します。
- ③ 研修施設等の整備（補助率：1/2）
技術習得等に必要となる**研修施設等の整備**を支援します。

3. 農業への人材呼び込みの支援

農業の魅力発信の取組や、就農相談から就農、定着、経営発展を支援するための**全国データベースのセキュリティ強化等の取組**を支援します。

<事業の流れ>



農業への人材呼び込み

発信力の高いロールモデル農業者による職業としての農業の魅力を伝えるイベント等の支援



・就農支援情報システム（全国データベース）のセキュリティ強化や機能拡充を支援



農業教育環境の整備

①スマート農業機械等の導入



ドローン



自動操舵システム



水管理システム



無線LAN、タブレット

②グリーン教育推進

有機農業専攻・科目の設置や有機JAS認証の取得に向けた取組をパッケージで支援（補助上限1,500万円/1都道府県）

（取組例）

- ・有機実習ほ場の設置
- ・研修用機械・設備の導入
- ・指導者の確保・育成
- ・教育コンテンツの作成
- ・有機JAS講習会の受講 等



③研修施設等の整備



農業用ハウス 畜舎



講義室

新規就農の支援

・研修期間中の就農希望者や新規就農者に対して12.5万円/月(150万円/年)を交付



・新規就農者に対して機械・施設、家畜の導入、果樹・茶の新植・改植、機械リース等を都道府県と連携して支援（都道府県支援分の2倍を国が支援、国の補助上限1/2）

